

RelaxTools Addin For Excel 2007/2010/2013
段落番号機能 使用説明書

第1.1版

2014年6月21日
Y. Watanabe (RelaxToolsの中の人)

1 この文書について	1
2 おすすめキー設定について	2
3. 段落番号の使い方	3
3.1 段落番号の設定を選択する	3
3.2 現在の段落番号の設定を確認する	3
3.3 段落番号の設定を行う	3
3.4 設定された段落番号を有効にする	4
3.5 段落番号を追加する	4
3.6 インデントを行う	4
3.6.1 右インデントの場合	4
3.6.2 左インデントの場合	4
3.7 段落番号の更新を行う	4
3.8 段落番号をコピー&ペーストする	5
3.9 目次を作成する	5
3.10 注意事項	5
3.10.1 段落番号の形式	5
3.10.2 目次作成時の対象列判定	5
3.10.3 前シートから段落番号を引き継ぐ	5
4 箇条書きの使い方	6
4.1 行頭文字の追加	6
4.2 行頭文字の削除	6
4.3 行頭文字の変更	6
4.4 行頭番号の追加	6
5 段落番号のサンプル	7

1 この文書について

この文書はRelaxToolsの新機能「段落番号」「箇条書き」機能について記述されたものです。

2 おすすめキー設定について

以下の設定がおすすめです。というか必須！
だまされたと思って設定してみてください。

ショートカットキー割り当て

RelaxTools のほぼすべての機能をショートカットで実行することが可能です。

割り当て可能なショートカットキー 割り当て可能な機能(ヘッダ部分で絞り込みが可能です)

シフトキー + キー	No.	カテゴリ	機能名
シフトキーなし	>>	すべて	
51 F4 キー	169	段落番号	段落番号の削除
52 F5 キー	170	段落番号	左インデント + 段落番号の更新
53 F6 キー	171	段落番号	右インデント + 段落番号の更新
54 F7 キー	172	段落番号	段落番号の更新
55 F8 キー	173	段落番号	段落番号のコピー
56 F9 キー	174	段落番号	設定1
57 F10 キー	175	段落番号	設定2
58 F11 キー	176	段落番号	設定3
59 F12 キー	177	段落番号	設定4
60 Space キー	178	段落番号	設定5

【参考】Excel標準のショートカットキー情報 同じキーに設定するとRelaxToolsの設定を優先します。(Windows使用キー以外)

【F4】直前のコマンドまたは操作を繰り返します。

↓ 追加 ↑ 削除

設定中のショートカットキー

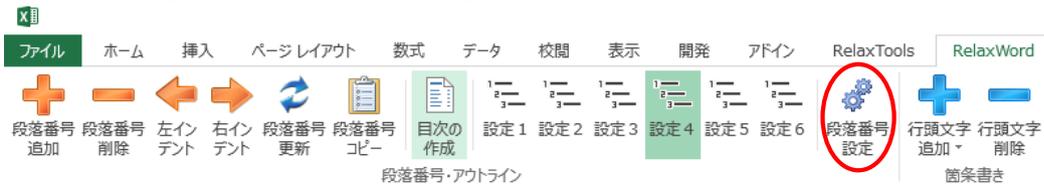
No.	キー名称	カテゴリ	機能名
1	CTRL+R キー	編集	行の複製
2	シフトキーなし+F1 キー	キー無効	ショートカットキーを無効にする
3	CTRL+D キー	編集	行の削除
4	CTRL+E キー	チェック	行の挿入
5	CTRL+Tab キー	ショートカットキー用	右インデント
6	CTRL+SHIFT+Tab キー	ショートカットキー用	左インデント
7	CTRL+I キー	書式	横中線追加
8	シフトキーなし+Tab キー	段落番号	右インデント + 段落番号の更新
9	SHIFT+Tab キー	段落番号	左インデント + 段落番号の更新
10	シフトキーなし+F5 キー	段落番号	段落番号の更新
11	シフトキーなし+F8 キー	段落番号	段落番号の追加
12	シフトキーなし+F4 キー	段落番号	段落番号の削除

設定 キャンセル

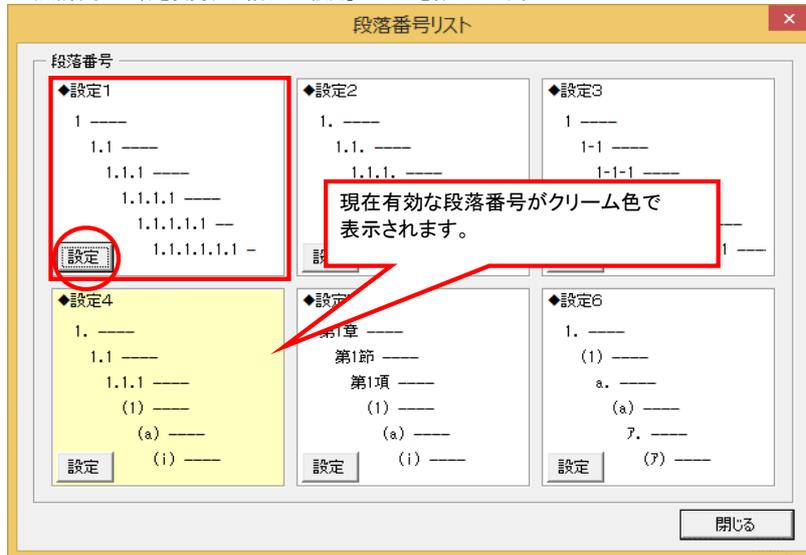
大抵、エディタやVisual StudioおよびEclipse で
インデントは、TAB or SHIFT+TAB なのでそれに合わせると
劇的に使いやすくなります。これ必須！

3 段落番号の使い方

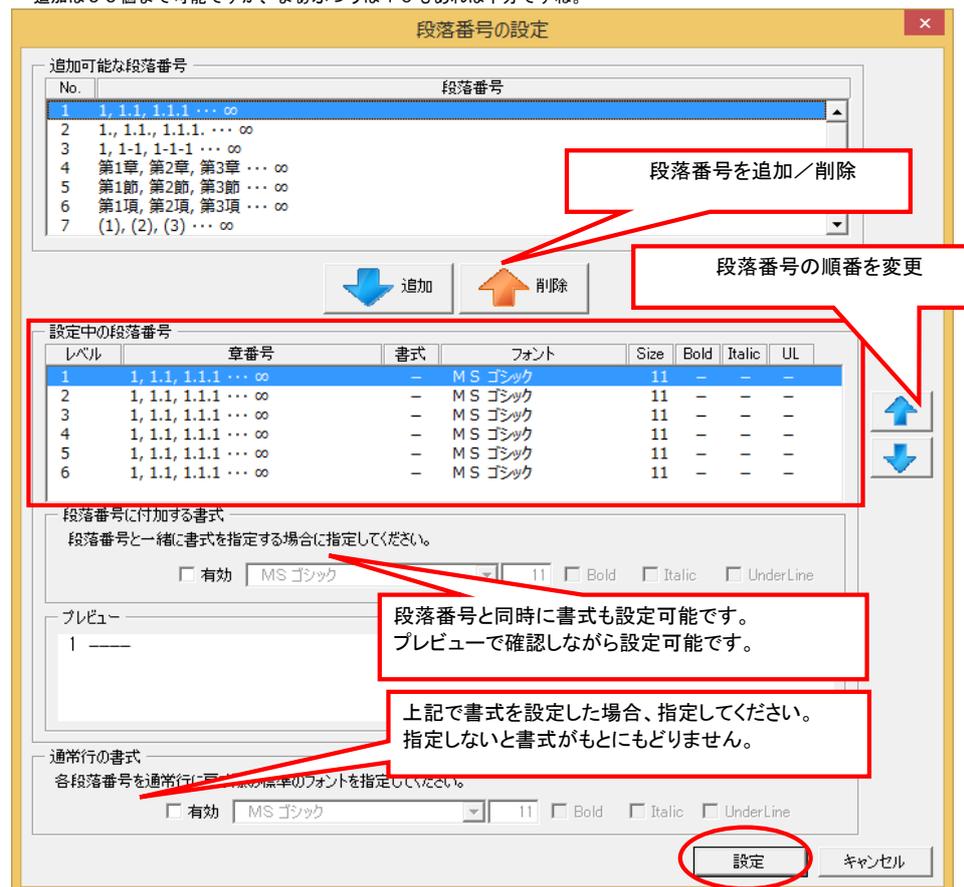
- 3.1 段落番号の設定を選択する
RelaxWordのタブを選択し、「段落番号設定」のボタンを押下します。



- 3.2 現在の段落番号の設定を確認する
段落番号の設定されている6つのリストの詳細が表示されます。
段落番号の内容を変更する場合は「設定」ボタンを押下します。

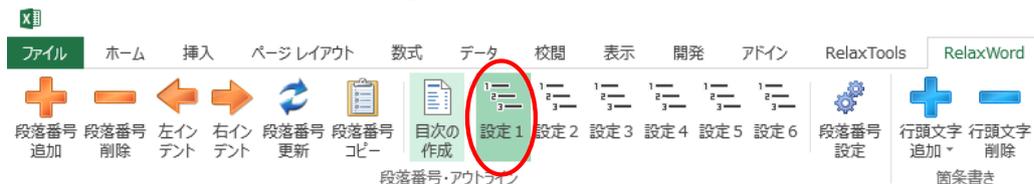


- 3.3 段落番号の設定を行う
16種類の段落番号から使用したい番号を追加します。
追加は99個まで可能ですが、まあふつうは10もあれば十分ですね。

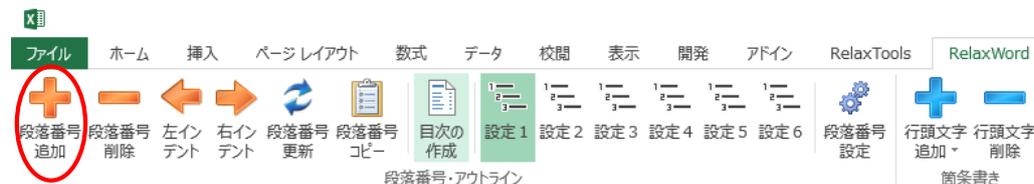


設定ボタンを押下して、指定内容を保存します。

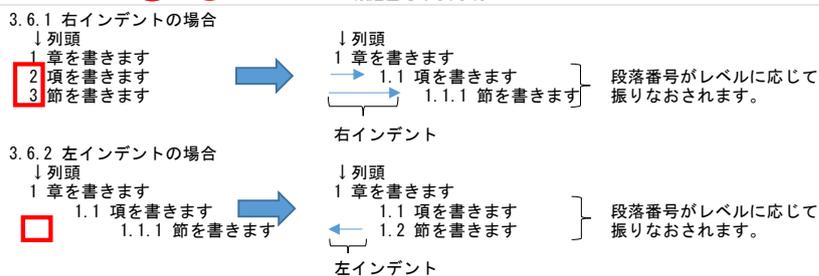
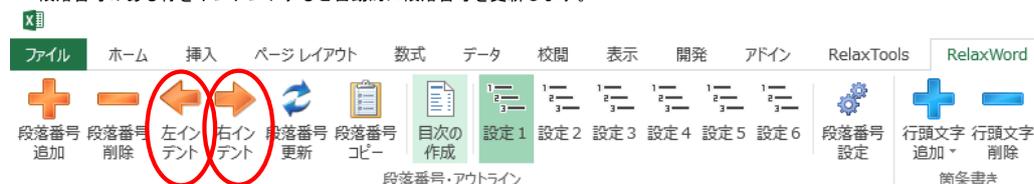
- 3.4 設定された段落番号を有効にする
設定1～6のラジオボタンを押下して段落番号を有効にします。



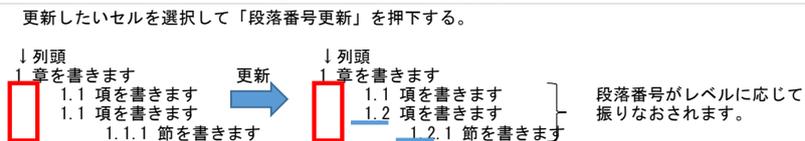
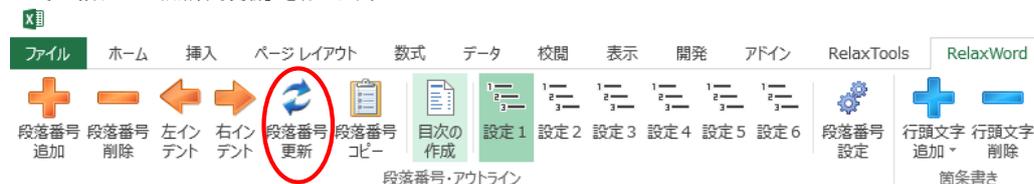
- 3.5 段落番号を追加する
段落番号を追加するセルを選択（1つまたは複数）して「段落番号追加」を押下します。



- 3.6 インデントを行う
段落番号のある行をインデントすると自動的に段落番号を更新します。

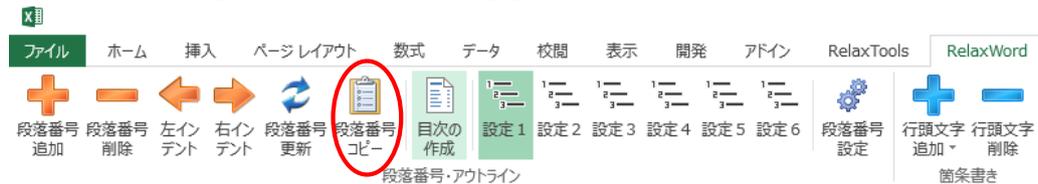


- 3.7 段落番号の更新を行う
インデントしたり、コピーしている間に段落番号がずれていきます。（ここは半自動なので）
その場合には「段落番号更新」を行います。

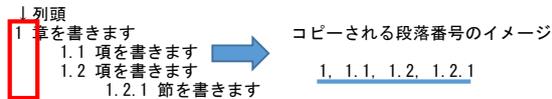


- ★便利な使い方1**
列全体を選択して、「段落番号更新」をすれば一気に段落番号を振りなおすことができます！
- ★便利な使い方2**
設定1～6のラジオボタンで別の設定に変更した後、列全体選択→「段落番号更新」をすると
一気に別設定の段落番号を振りなおすことができます！

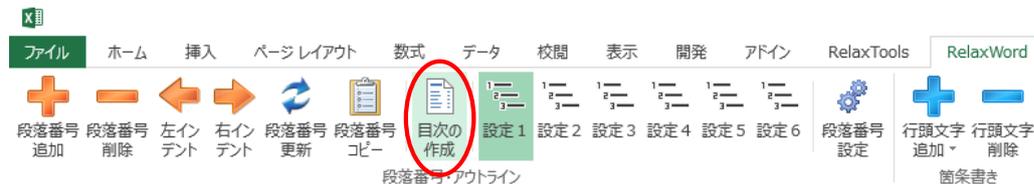
- 3.8 段落番号をコピー&ペーストする
文中などで段落番号を参照する場合、「段落番号コピー」を押下します。



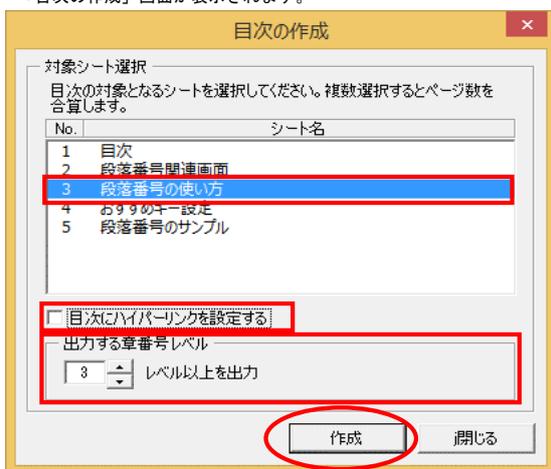
コピーしたいセルを選択して「段落番号コピー」を押下します。



- 3.9 目次を作成する
作成した段落番号をもとに目次を作成することができます。
「目次の作成」を押下します。



「目次の作成」画面が表示されます。



目次を作成するシートとレベルを指定して「作成」ボタンを押下すると、目次が作成されます。
結果は「目次」シートを見てね！

- 3.10 注意事項
3.10.1 段落番号の形式

段落番号 + [半角スペース]桁 + 文章 -----

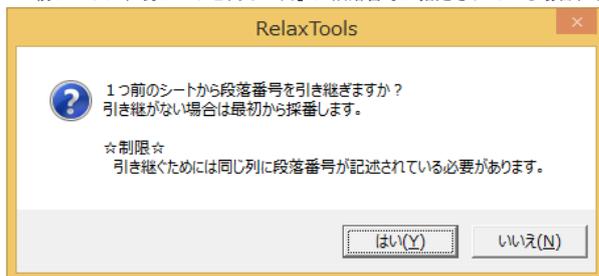
プログラムで段落番号を認識する場合には、間にある半角スペースを含めて判断しているので、スペースは削除しないでください。

- 3.10.2 目次作成時の対象列判定

A列～Z列に向けて、段落番号が最初に見つかった列に対して、目次を作成します。
段落番号を複数の列に記述している場合には注意してください。（基本行わないのが吉）

- 3.10.3 前シートから段落番号を引き継ぐ

前シートに、現シートと同じ「列」に段落番号が指定されている場合、以下のメッセージが表示されます。

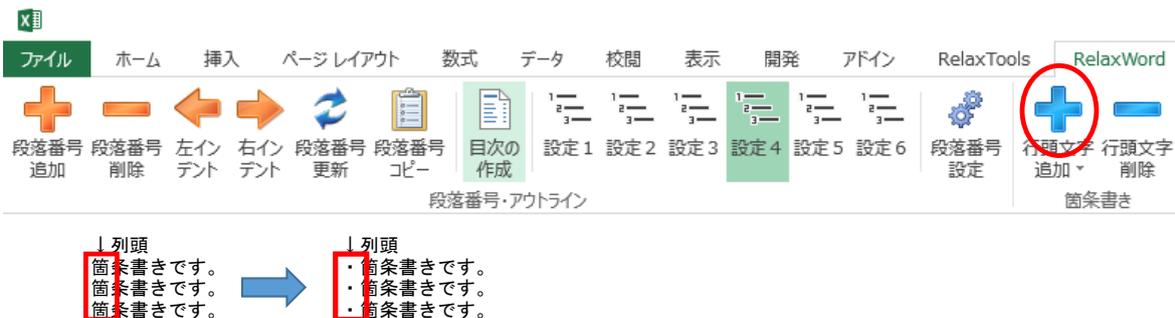


- ・「はい」を選んだ場合、前シートから段落番号を引き継ぎます。
- ・「いいえ」を絵乱した場合、1から段落番号を振りなおします。

4 箇条書きの使い方

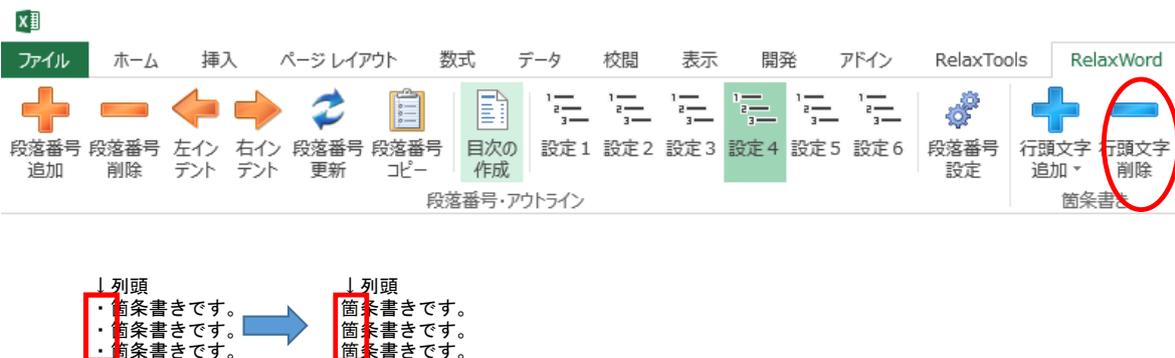
4.1 行頭文字の追加

行頭文字を追加するセルを選択（1つまたは複数）して「行頭文字追加」を押下します。



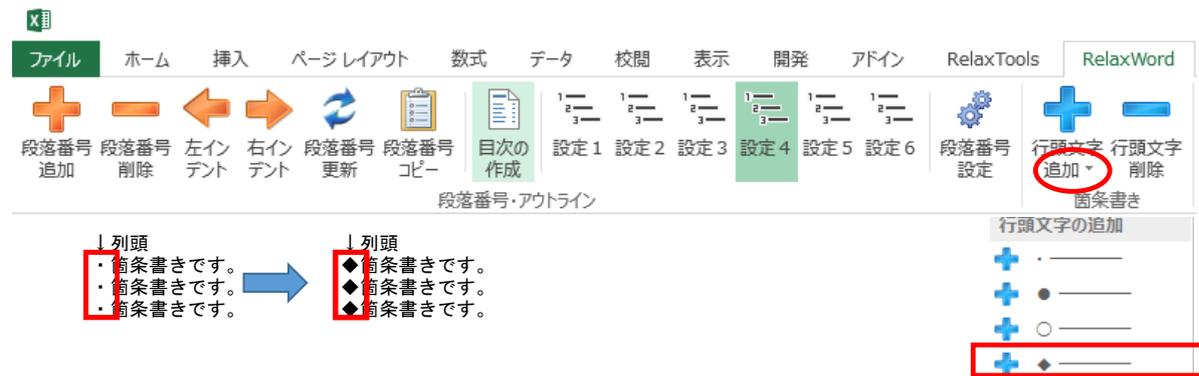
4.2 行頭文字の削除

行頭文字を削除するセルを選択（1つまたは複数）して「行頭文字削除」を押下します。



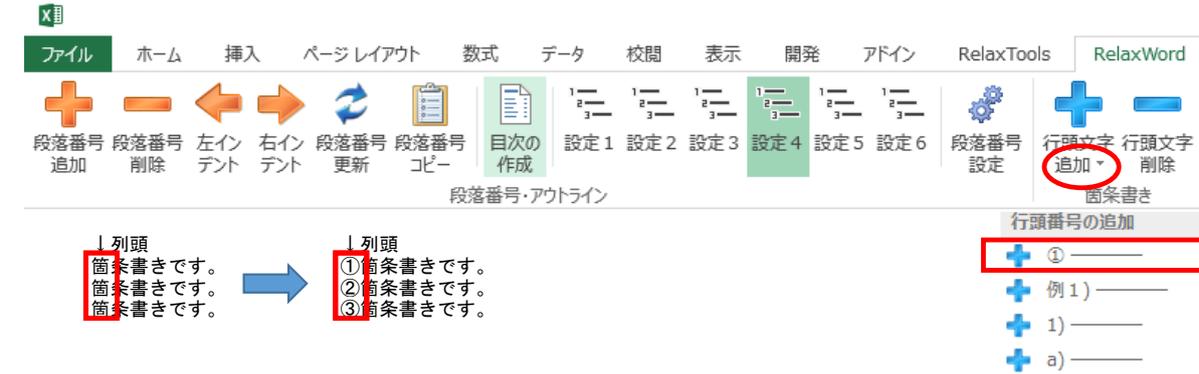
4.3 行頭文字の変更

行頭文字を変更するセルを選択（1つまたは複数）して「行頭文字追加」の下「▼」付近を押下してメニューをドロップします。「◆ -----」を選択します。



4.4 行頭番号の追加

行頭番号を追加するセルを選択（1つまたは複数）して「行頭文字追加」の下「▼」付近を押下してメニューをドロップします。「① -----」を選択します。



5 段落番号のサンプル

文章を書く列を固定する(この例ではB列)
インデント(字下げ)は段落番号用のインデントを使用する

文章を書いた後「段落記号追加」をすると段落番号が付く。

関数：章番号初期設定処理

1 初期処理

1.1 フォントの初期値を設定する

No	設定	内容
1	C_FONT_DEFAULT	Application.StandardFont
2	C_FONT_SIZE_DEFAULT	Application.StandardFontSize

1.2 レジストリより設定値を取得する (GetSetting)

No	設定	内容
1	アプリケーション名	"RelaxTools"
2	セクション名	"Section"
3	キー名	"Pos"
4	デフォルト値	"x"

表はなるべくB列に書かない
(基本大丈夫ですけど、誤作動するとアレなので)

2 メイン処理

2.1 IF 1.2 で取得した値が"x"の場合

2.2 ループ処理 (i = 1 To 6)

2.2.1 コレクション (col) を生成する

2.2.2 ループ処理 (j = 1 To 10)

2.2.2.1 クラス名のデフォルト値を取得する (getDefault)

No	設定	内容
1	引数 1	iを前ZERO2桁+jを前ZERO2桁を文字列に変換してセット

2.2.2.2 IF 2.2.2.1で取得したクラス名が""以外の場合

2.2.2.2.1 クラス (SectionStruct) を生成して変数 (ss) にセットする。

No	設定	内容
1	ss.classObj	2.2.2.1で取得したクラス名をインスタンス化してセット
2	ss.useFormat	false をセット
3	ss.fontName	C_FONT_DEFAULT をセット
4	ss.fontSize	C_FONT_SIZE_DEFAULT をセット
5	ss.fontBold	false をセット
6	ss.fontItalic	false をセット
7	ss.fontUnderLine	false をセット
8	ss.useFormat2	false をセット
9	ss.fontName2	C_FONT_DEFAULT をセット
10	ss.fontSize2	C_FONT_SIZE_DEFAULT をセット
11	ss.fontBold2	false をセット
12	ss.fontItalic2	false をセット
13	ss.fontUnderLine2	false をセット

2.2.2.2.2 コレクション (col) にオブジェクト (ss) をAdd

2.2.2.2.3 オブジェクト (ss) を解放する

2.2.3 関数 (setSectionSetting) を呼び出す

No	設定	内容
1	引数 1	iを前ZERO2桁+jを前ZERO2桁を文字列に変換してセット
2	引数 2	コレクションオブジェクト1 (col)

2.2.4 コレクション (col) を解放する

3 終了処理

3.1 関数の戻り値を設定する

3.1.1 関数 (getSectionSetting)

No	設定	内容
1	引数 1	1.2 で取得した値を前ZERO2桁を文字列に変換してセット

番号がずれたまたは、別の設定で番号を振りなおす場合は、列B全体を選択した後、「段落番号の更新」をする